

## 多読の効果を高めるには—読書傾向の考察から

### What Enhances the Effect of Extensive Reading

#### —A Consideration about Reading Attitudes

黛 道子 MAYUZUMI Michiko (順天堂大学)  
宮津多美子 MIYATSU Tamiko (順天堂大学)

---

#### I. はじめに

長期的な視点から、英語を英語により理解し、運用する力を養う目的で、数年来、4年制大学で多読・多聴により英語教育を行ってきた。これまでの先行研究の例にも見られるように(高瀬 2010, 31-51)、毎年、楽しいという反応が大多数を占め、学習への興味・関心が深まる、学習意欲が高まる、自主的な学習態度が育つなどの情意的な面での成果は大きく、また、読書速度が増す、読むのが楽になるなどの進歩も毎年、報告されている。

一方、TOEIC などの客観的な指標テストを数年来、行ってきたが、一般的なスコアは多くの年で若干の伸びを示すものの、統計的な有意性はある場合もない場合もあり、年度により異なる。1年間の多読多聴の授業を行い、平均 10 万語程度の読書量では十分、多読の効果を生かすことができないことを実感している。豊田高専の例が示すように(豊田高専報告書 2011)、数年間、多読を継続し、平均 30 万語以上の読書量を確保することができれば理想的であるが、カリキュラムの都合で1年以内の多読にせざるをえないのが現状である。

また、研究対象とした大学では、1年間の読書量はいろいろに工夫し、さまざまに目を配っても、せいぜい平均 10 万語程度である。対象校のように非英語系学部で、入学時に英語の試験を受けずに入学する学生が半数という場合には、飛躍的に読書量を増加させるのは難しい。毎年、多読授業を行っていると、同じ 10 万語程度の読書でも TOEIC スコアが大幅に上昇する学生と逆に下降する学生が相当数あることに気づく。

上昇、下降ともその原因は容易に特定することは困難であり、おそらくいくつかの要因が複合的に重なってこのような結果を生むものであろう。今回はその要因のひとつとして読書の仕方に注目して、実践結果を考察した。その結果を報告する。

なお、本報告中では図書シリーズ名を略号で表示したが、正式名称や大まかなレベル、総語数などの情報は、古川(2007)「多読基本図書の YL 表 2007 年度案 GR/LR・児童書・一般書」[http://www.seg.co.jp/sss/word\\_count/YL.html](http://www.seg.co.jp/sss/word_count/YL.html) を参照。

## II. 研究方法

4年生大学において1年間、多読多聴を主体として授業を行い、学生の読書の仕方とTOEICスコアの変化の関連を考察した。実際には、多読多聴の効果を論じるためには、ある程度の量を読んでいる学生を対象にする必要があると考え、10万語以上読んだ学生に注目した。さらにその中で、TOEICスコアの上昇幅が大きい順に7名と、下降幅が大きい順に7名について、月別の読書量の変化と多読手帳のコメントを調査し、その特徴や傾向を考察した。上昇、下降、それぞれ7名ずつ取り上げたのは、10万語以上多読した学生が73名であったので、それぞれその10%にあたり、ここに上昇と下降のそれぞれのグループの傾向が典型的に表れるのではないかと考えたためである。

### 1. 対象

多読を行った4年制大学非英語系学部1年生のうち、10万語以上読書した学生の中から、さらにTOEICスコアの上昇幅、下降幅が大きい順に7名ずつを抽出し、対象とした。

### 2. 授業概要

以下のように多読授業を行った。

1) 授業対象者：4年制大学非語学系学部1年生 199名（通年必修）

2 コマを使い、それぞれのコマで3クラス（3名の教員）が同時に授業する  
各クラス 32～34名（のべ6クラス）

2) 期間：2010年4月～2011年1月

3) 授業時間数：週1回、1コマ85分×24回（前期12回、後期12回）

4) 授業方法

- ①やさしいレベルの本（YL0.1～1.9）を中心にした。Graded Readers、Leveled Readers、その他の絵本や児童書など、毎回、400冊程度をクラスに運んで使用した。蔵書数は4000冊以上になるので、使用する教材は飽きないように、入れ替えながら使用した。
- ②授業内で多読を行った。「多読3原則」（酒井 2002）に従い、辞書は使用せず、本の内容が楽しめればよいことにし、読みにくい、わからない、つまらないなどの場合は他の本に換えるよう指導した。またCALL教室では各自のコンピューターを利用し、その他の教室では人数分用意したポータブルCDプレイヤーを使用してCDもたくさん聞くよう勧めた。
- ③授業のたびに3冊までという制限を付けて貸出も行った。しかし実際には、それ以上、借りたいという希望者にはほとんど例外なく貸出を許可した。また、図書館に少しずつ多読用の図書を申請し、増加させているので、図書館で借りることも可能になった。
- ④Black Cat Earlyreads (YL0.9～1.0)から *The Little Mermaid* と *Sleeping Beauty* を選び、音を聞き、丁寧に読む時間（20～30分）を数回ずつ設けた。また、ORTとFRLはそれぞれ数週間の期間を設定し、ORTはStage 6まで、FRLはLevel 5までを読むこととし、

内容に関する Quiz を実施した。

### 3. 使用したデータ

- 1) 読了冊数、読了語数
- 2) IP-TOEIC テスト：4月と1月の2回
- 3) 多読手帳

### 4. 倫理的配慮

対象とした大学の倫理委員会の承認を得て研究を開始した。内容は

- 1) 個人名が特定されることのないよう配慮する。
- 2) テストを行う際は 研究目的であること、結果が成績には反映されないことを口頭、および書面にて伝え、さらに同意書を取り、撤回書を添えること
- 3) アンケートは無記名で行い、回答しない自由が認められていること、回答を拒否したことで不利益を被らないことを 口頭および書面で伝えること

## III. 結果

### 1. 学年全体の読書量と TOEIC スコア

読了語数 10 万語以上のグループの学年全体での位置を把握しやすくするために、学年全体の読書量と TOEIC スコア、および読了語数分布を表 1、表 2 に示す。

表 1 学年全体の読書量と TOEIC スコア

(199 人)

	読了冊数	読了語数	TOEIC 1	TOEIC 2
平均	154	96,122	318	323
最大	300	373,329	555	585
最小	72	19,956	155	175

表 2 読了語数分布

年間読了語数	人数(199)
～5 万語	26
5～10 万語	100
10～15 万語	45
15～20 万語	20
20 万語～	8

### 2. 読了語数 10 万語以上のグループの傾向

10 万語以上読んだグループは全体として順調に読書量を増やしたと言えるが、TOEIC のスコア変化をみると、大きく上昇させた学生も、逆に大きく下降させた学生もあり、結果はさまざまであった。表 3 に示したように、50 点以上上昇させた学生が 12 人いる一方、50 点以上下降させた学生も 13 人に上った。中には 150 点上昇した例や 145 点下降した例など、増減の幅が非常に大きい学生も見られ、10 万語以上読書したグループの中でも明暗を分ける結果となった。

表3 スコア上昇・下降の内訳

スコア増減 (増減幅)	スコア上昇人数 (5~150)	スコア下降人数 (-5~-145)
25 未満	12	9
25 以上 50 未満	13	7
50 以上 100 未満	9	11
100 以上	3	2
	計 37	計 29

### 3. 上昇・下降のサンプル・グループの基礎データ

10万語以上読書した中で、TOEIC スコアの上昇幅の大きい順に7名（Aグループ）、下降幅の大きい順に7名（Bグループ）をサンプルとして、グループごとに読書経過を検証した。

#### 1) グループ別読書量と TOEIC スコア

まず初めに、それぞれのグループの読書量と TOEIC スコアのデータを表4、および表5に示す。

表4 上昇グループ(A)の読書量と TOEIC スコア

	年間読了冊数	年間読了語数	TOEIC 1	TOEIC 2	TOEIC 上昇点
A1	185	182947	365	420	55
A2	185	106086	245	310	65
A3	132	178117	355	430	75
A4	182	128842	255	345	90
A5	140	147195	425	530	105
A6	178	112428	255	365	110
A7	127	123479	430	580	150
平均	161	139871	333	426	93

表5 下降グループ(B)の読書量と TOEIC スコア

	年間読了冊数	年間読了語数	TOEIC 1	TOEIC 2	TOEIC 下降点
B1	120	102478	435	370	-65
B2	154	137936	450	380	-70
B3	117	113412	340	265	-75

B4	209	141539	390	300	-90
B5	178	171955	365	275	-90
B6	191	207864	390	255	-135
B7	168	373329	470	325	-145
平均	162	178359	406	310	-96

A、Bそれぞれのグループを比較すると平均読了冊数には差がなく、読了語数はグループAが約14万語であるのに対し、グループBは約18万語となった。ただ、グループBではB7の学生の読了語数が突出しており、この学生を除くと平均約14万6千語となり、上昇グループより下降グループの方がやや多めに読んだ程度で、大きな差はなかった。この結果から見ると、読書量がほぼ同じであっても、TOEICスコアが上昇する場合も下降する場合もあり、その原因は必ずしも読書量だけではないと考えられる。

また、TOEICスコアの変化を見ると、Aグループは平均333から426へと大きく上昇し、Bグループは平均406から310へと下降し、授業開始時と終了時で結果はまったく逆転した。

## 2) グループ別読書経過

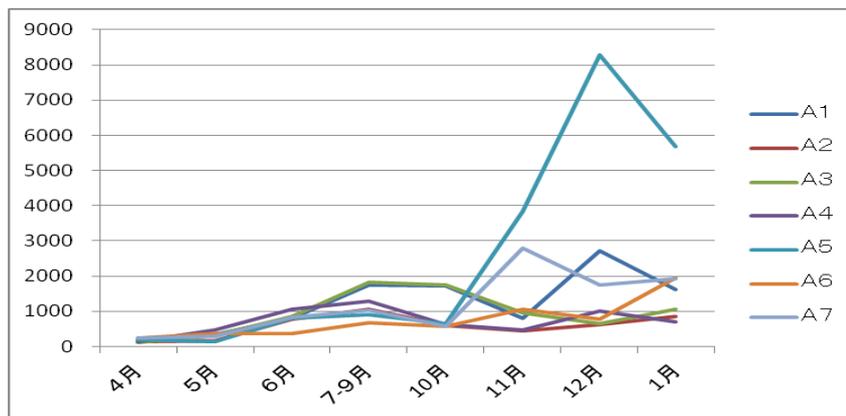
A、Bのそれぞれのグループについて各月ごと（7月～9月はひとつにした）の1冊あたりの語数の変化を多読手帳の記録から算出した。

### ①Aグループの読書経過

Aグループの結果を表6にまとめ、グラフ1に図示した。

表6 上昇グループ(A) 語数/冊の月別推移

語/冊	4月	5月	6月	7-9月	10月	11月	12月	1月
A1	157	345	798	1742	1722	805	2726	1617
A2	132	162	788	1056	597	446	633	854
A3	123	320	864	1825	1751	951	660	1069
A4	147	479	1059	1288	634	482	1012	696
A5	180	143	804	911	660	3829	8289	5673
A6	235	376	365	684	582	1050	772	1958
A7	230	289	818	1044	565	2789	1737	1936



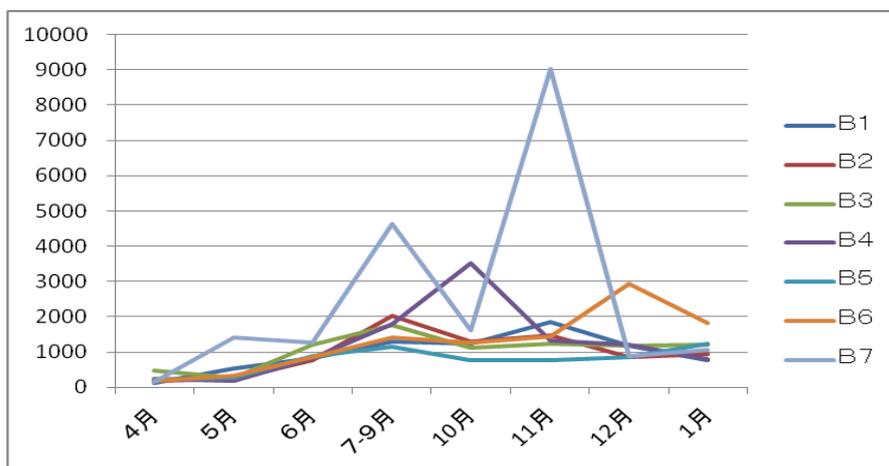
グラフ1 上昇グループ(A) 語数/冊の月別推移

②Bグループの読書経過

Bグループの結果を表7にまとめ、グラフ2に図示した。

表7 下降グループ(B) 語数/冊の月別推移

語/冊	4月	5月	6月	7-9月	10月	11月	12月	1月
B1	132	527	825	1296	1223	1855	1168	777
B2	175	232	772	2012	1283	1471	841	947
B3	485	263	1201	1758	1126	1237	1172	1205
B4	240	172	814	1799	3521	1324	1214	795
B5	222	284	881	1137	779	760	845	1237
B6	168	340	853	1408	1270	1454	2930	1821
B7	156	1402	1269	4642	1615	9019	884	1049



グラフ2 下降グループ(B) 語数/冊の月別推移

A、B両グループの月別に1冊あたりの語数を比較すると、Aグループは多少、上下はするものの、大きく見るとわずかに増加する傾向が見られた。12月に大きな山を作ったA5の学生は、Princess Diariesのシリーズが楽しくて、次々に読み続けた結果である。シリーズ読了後はやや下降したが、落ちたきりで終わるようなことはなく、その後も堅調な読みぶりを示した。

一方、BグループはB7のように乱高下する学生もあり、気まぐれにいろいろな本に手を出し、安定した読書ができなかったことをうかがわせる。途中、一時的に増加することはあっても、大きく見ると下降傾向を示した。

### 3) グループ別読書傾向

A、B両グループの読書傾向を見るために、多読手帳から月ごとに2つのコメントを拾い、表にまとめた。紙面の都合もあり、7人ずつ全員のデータを記載することは無理なため、それぞれ3人ずつ、コメントを紹介する。

#### ①Aグループの読書傾向

Aグループの3人の月別コメントは以下のようであった。

表8 上昇グループ(A) コメント

	A1	A4	A5
	365→420	255→345	425→530
4月	わからない単語があっても話 はつかめた。ストーリーはおも しろい。(ORT4: <i>The Camcorder</i> 182 語)	ベビーシッター、みかけによら ず、おもしろい人。(ORT2A: <i>The Babysitter</i> 71 語)	絵がわかりやすい。(ORT4: <i>Poor Old Mum</i> 84 語)
	すらすら読めた。前のと比べ ると長く感じた。(ORT5: <i>The Dragon Tree</i> 294 語)	やさしい家族だ(ORT4A: <i>Poor Old Mum!</i> 84 語)	おちがおもしろかった。 (ORT3A: <i>Strawberry Jam</i> 76 語)
5月	ORT5に繋がる話だあって最 後ワクワクしました。(すでに ORT5を読んでいるので) (ORT4: <i>The Storm</i> 188 語)	リカード、めちゃめちやいいヤ ツ! ドロボー、ばかだな!! (PGR0: <i>Big Bag Mistake</i> )	本当に本の虫の虫になる Kipperがおもしろい。(ORT3B: <i>Book Week</i> 81 語)
	絵本の中の星が本当に輝い ていてキレイだった。音に合 わせて文を読んでいくので、 わからなくてもすぐ先を読め た(LTT: <i>Laura's Star</i> 622 語)	ずいぶん悪い女だ! 捕まって よかったー(OBW0: <i>Police TV</i> 1500 語)	Nadimはすごい人だと思っ た。(ORT4: <i>Swap!</i> 109 語)

6月	名前を聞いたかった女の子が転校してくるなんてドラマチックだ！面白い。(FRL1: <i>Goodbye, Hello</i> 584 語)	ダニエラが選ばれてよかったー！(FRL2: <i>Singer Wanted</i> 650 語)	すごくおもしろかった。ダニエラは怖がっていたけど、Fayeは勇ましかった。(FRL2: <i>The Cave</i> 726 語)
	Mark は本当に良い人だなんて思いました。感動しました…。みんな、理解してあげて！(FRL3: <i>Slam Dunk for Mark</i> 771 語)	アディブ、いいヤツだなー。(FRL5: <i>Who's Best?</i> 1605 語)	エリックが男らしくてかっこいい。(FRL3: <i>A Good Friend</i> 911 語)
7月	今まで読んだ中で一番好きかも。この2人が結ばれてほしかったな…。ラストがせつない！！(PGR0: <i>The Song</i> 800 語)	Faye は頭がいい子だなー (FRL4: <i>Lost at Sea</i> 1405 語)	タイラーたちは頭がよくて協力し合って助かってよかった。(FRL4: <i>Lost at Sea</i> 1405 語)
	途中のマジックのとき、本当に刺してしまったのかと思って驚いた！(PGR0 <i>The Blue Cat Club</i> 900 語)	最後までハラハラした。(PGR0: <i>Run for Your Life</i> 1600 語)	音楽付きでおもしろかった。CDを聞きながら絵をじっくり見れた。(Winnie <i>Flies Again</i> 435 語)
10月	よく働く良いロボットだなあって思っていたけど、恐ろしい。Johnを閉じ込めてしまったときは本当に怖かった。(GER0: <i>Let Me Out</i> 2100 語)	すごいおもしろかったあああ。イジワルな母親と別れて正解！(PYR3: <i>Hansel and Gretel</i> 1300 語)	Monsterがおっとりしていてかわいかった。(ICR1: <i>No More Monsters for Me</i> 1470 語)
	犯人は愛人だと思っていたら、まさかの夫だった。女刑事かっこいい！！(GER1: <i>Inspector Logan</i> 4200 語)	豚、気まぐれなヤツだけど、おもしろくてかわいかった。(Poppleton 812 語)	アンドリューは少しかわいそうだった。(OBW0: <i>Sally's Phone</i> 1300 語)
11月	マーメイドの話は好きなので、読むのが楽しかった。王子様と結ばれなくて悲しい(OCT3: <i>The Little Mermaid</i> 1000 語)	結婚しちゃえばいいのに～♪ (Mr. <i>Putter &amp; Tabby Toot the Horn</i> 595 語)	私が大好きな本だったので、借りてみた。英語版もすごくおもしろい。(MMR3: <i>The Princess Diaries 1</i> 15000 語)
	Johnnyはステキな人だと思った。リンゴおいしそう。(RTR1: <i>Johnny Appleseed</i> 217 語)	砂漠なみに肌、乾燥してるってやばいなー。かわいい。(Poppleton and <i>Friends</i> 771 語)	すごくおもしろい！変なものがたくさん出てきておもしろかった。(BNN2: <i>Midnight in Memphis</i> 1073 語)

12月	簡単だと思ったら意外に文が難しかった。このブタさんはすごく可愛がられていると思った。こんなブタさんがいたら楽しいな！(Mercy Watson Goes to a Ride 2176語)	拾ってもらえてよかったね～。(RKR: Sam 89語)	かわいくておもしろい！日記だから読みやすい。(MMR3: The Princess Diaries 2 15,000語)
	だまされたはずが、逆に良い方向に進んじゃってビックリ！2人とも良かったね！(ODM0: A Pretty Face 3000語)	カメラマンも大変だなー。おどされちゃうんだもん。(CER1: The Big Picture 4200語)	絵だけでも内容がわかるので、速いスピードで読めた。(PYR4: The Road to El Dorado 2,000語)
1月	一瞬で読むことができた。短い文は英語のままとらえることができていると思う(HMLR: The Huge Carrot 50語)	これは続くのか？おもしろいから映像で見たい！CD聞きたい！(ICR2: Tea with Mr Tumnus 626語)	おもしろくてすらすら読めた。これで最後だと思うと残念。(MMR4: The Princess Diaries 4 17000語)
	興味のあるタイトルでした(笑) やっぱりお金目当てはよくないです。(OBW1: Love or Money 7300語)	優秀なねこになったもんだ。(ICR1: The Fire Cat 1611語)	怖かったけど、解決してよかった。(SCE1: Haunted Britain 2935語)

Aグループのコメントには次のような特徴が見られた。

全般的に楽しそうで、物語の中に入ってはらはらしたり、怖いと思ったり、内容に対してよく反応し、学習のためというより楽しみのための読書になっている(Day and Bamford 2002)。内容についてのコメントも多く、読んだ内容をほぼ理解していることが感じられる。CDも楽しんで聞いているようだ。また、A3はMr. Putter and Tabbyシリーズ、PoppletonシリーズなどのRylant作品、A5はThe Princess Diaryシリーズが好きで、次々に読み、好きなシリーズが読書量の増加に貢献したと考えられる。

## ②Bグループの読書傾向

Bグループのコメントを以下に紹介する。

表9 下降グループ(B)のコメント

	B2	B4	B7
	450→380	365→275	470→325
4月	面白かった。Mess??(ORT4: Come In!, 109語)	父が入院(ORT2: Present for Dad 44語)	簡単だった。(RTR: Hands, 24語)

	読みやすかった。“Pull off”?? (ORT4: <i>The Secret Room</i> 195 語)	大変そう(ORT4: <i>The Storm</i> , 188 語)	大きな箱には何が入ってたのか気になった。(ORT4: <i>The New House</i> , 120 語)
5月	ちょっと理解できなかった。 (RTR: <i>Special Delivery!</i> , 650 語)	ききゆうに乗りたい!(ORT4: <i>The Balloon</i> , 177 語)	こういう実話はあまりすきじゃないな。(HBR2: <i>The Red-headed League</i> 5690 語)
	足跡の話で特に面白くなかった。(ORT1+: <i>Big Feet</i> 41 語)	キャンプした～い。(ORT5: <i>The Camping Adventure</i> 332 語)	あとの内容予想つくようになってきた。(ORT6: <i>The Outing</i> , 506 語)
6月	最後がビミョーだった。(FRL1: <i>Goodbye, Hello!</i> , 584 語)	パーティー楽しそう。(Tadpole: <i>The Dinosaur Next Door</i> 86 語)	簡単な文章でよかった。(FRL1: <i>Rain! Rain! Rain!</i> , 508 語)
	まあまあだった。(ICR1: <i>Fancy Nancy Sees Stars</i> 524 語)	サッカーは楽しいよね。(FRL1: <i>Get the Ball!</i> 530 語)	あまり好きじゃない。(FRL3: <i>Kung Fu Kid</i> 765 語)
7月	あまり好きじゃなかった。 (FRL5: <i>Think Daniela</i> 1444 語)	ちょっと怖い話だった。(GER0: <i>The Girl at the Window</i> 2000 語)	いい年してバカみたい。(FRL5: <i>Boys vs. Girls</i> 1746 語)
	まあまあだった。(PGR0: <i>Island for Sale</i> 1700 語)	絵が好きだった。(The Story of Castle 2000 語)	よくある話だと思った。(PWL: <i>The Cross-country Race</i> 244 語)
10月	話も長いし、内容も難しかった。(PYR: <i>Snow Queen</i> 2500 語)	あまり2は面白くなかった。 (MMR3: <i>The Princess Diaries 2</i> 15000 語)	絵はかわいいなと思った。 (HMLR: <i>Zeke Takes a Bath</i> 532 語)
	最後がよく分からなかった。 (PGR0: <i>Karen and the Artist</i> 1500 語)	おバカでかわいかった。(IAR: <i>Ricky's Rat Gang</i> 1400 語)	大好き。もっと読みたい。何回も読み返したいと思った。(夏休み貸出)(Darren Shan, <i>Cirque du Freak</i> 48726 語)
11月	まあまあだった。(FRL7: <i>My Mom, the Movie Star</i> 2892 語)	むずかしくてよく内容がわからなかった。(Pirate School: <i>The Birthday Bash</i> 1878 語)	意味が分からない。先生がこれをすすめた。(LLL1: <i>Bananas</i> 21 語)
	良い話だった。(FRL7: <i>The Secret Tunnel</i> 2285 語)	声よかった。(IAR: <i>Granddad's Dinosaur</i> 1400 語)	上に同じく。(LLL1: <i>The Goose Chase</i> 15 語)
12月	悲しかった。(OCT: <i>The Little Mermaid</i> 1000 語)	あまり好きな話ではなかった。(ICR3: <i>It's Thanksgiving!</i> 1009 語)	つまらない。(RKR: <i>What Can I Be?</i> 29 語)

	奇妙だった。(MMR1: <i>The Lost Ship</i> 600 語)	単語がわからなくて、意味不明だった。(RTR3: <i>Bunnacula, The Fright before Christmas</i> 1663 語)	つまらない。(PAR0: <i>Good Day, Bad Day</i> 1049 語)
1 月	つまんなかった。(LLL-Info: <i>How to Dress a Queen</i> 86 語)	長くていやだった。(OBW1: <i>Tom Sawyer</i> 5800 語)	つまらなかった。(MCR: <i>Miss Electra's Friends</i> 1345 語)
	おもしろかった。(ICR3: <i>Minnie and Moo, Wanted</i> 1062 語)	SF系は好きじゃなかった。(ICR2: <i>Ginormica's Big Battle</i> 681 語)	(1月＝記録上の一冊のみ)

Bグループのコメントには全体的に次のような特徴が見られた。

内容に踏み込んだコメントが少なく、「まあまあ」「つまらなかった」などのひとことで終わってしまいがちで、内容を理解しているかは不明である。「難しかった」と言いながら、やさしい本は「つまらない」と読みたがらない場合も多く、B7のように、本の好き嫌いが激しく、自己主張が強い場合は勝手に本を選びがちで、指導がむずかしい。また、わからない単語へのこだわりが強い人、記録に不備のある人も見られた。あまり楽しんで読んでいるとは言えない記録が多かった。

#### 4) 多読以外の英語学習経験

Aグループのスコア上昇には他の英語学習が影響している可能性もあるので、情報が得られたものについて記載する。

多読以外の英語授業としては選択で行われている英会話（通年、週1回、Native Speakerが日常会話を指導）がある。授業を選択したのは、AグループではA2、A3、A4、A6、BグループではB3を除いては全員、選択していた。以上により、英会話の授業がTOEICスコアの上昇や下降に特に影響しているとは考えられない。

Aグループの7人中、情報が得られた4人のその他の英語学習経験については、海外での語学研修の経験はなく、A5の学生が自分でTOEICの学習をしたほかは何もしなかったとのことである。

他の英語学習経験はまったく影響がないと言い難いが、対象校は1年次の必修が29科目（通年2、半期27）と、カリキュラムがきわめて過密で時間的ゆとりがないこと、英語への関心も概して低く、自主的にTOEICを受験するような学生もめったにいないことを考えると、他の学習効果の影響は極めて少ないと考えている。

## IV. 考察とまとめ

例年、同じような読書量でもTOEICのスコアを大きく上昇させる学生がいる一方で、大

大きく下降させる学生もあり、特に原因らしいものも思い当たらない。今回の実践結果でも上昇グループの TOEIC 平均スコアが 333 から 426 へ、下降グループの平均スコアは 406 から 310 へとそれぞれ変化し、開始時と終了時では結果が逆転するほどの差となった。

原因を特定することはむずかしく、おそらくいくつかの要素が複合的にからみあって、このような結果を生むのであろうが、その要素のひとつとして、「読書態度」があるのではないかと考え、今回は両グループを読書の仕方によって比較した。なお、「読書態度」の影響については高瀬が著書(2010, 177-178)の中で、すでに指摘している。

その結果、両グループには次のような違いが見られた。

- 1) 年間読書量は、冊数についてはどちらのグループも 160 冊程度で変わらず、語数については、上昇グループ(約 14 万語)よりも特異な学生のデータを除いた下降グループ(約 14 万 6 千語)の方がやや多い程度で、大きな差はなかった。下降グループは全体として、やさしい本をたっぷり読む前に、内容理解の薄いまま、レベルの上の本に手を出す傾向が見られた。
- 2) 読書経過を見ると、気まぐれにいろいろな本に手を出して、読み散らすようなことをせず、ときどきは上のレベルの本に挑戦しつつも、やさしいレベルから安定的に読んでいく方が効果が高いと思われる。
- 3) 多読手帳のコメントからは、上昇グループが楽しんで読み、内容もよくとらえているのに対し、下降グループは内容への言及が少ないのが特徴で、本の好き嫌いが激しい、単語にこだわりすぎるなど、問題をかかえている場合もあり、丁寧な指導の必要があるだろう。

以上をまとめると、多読の効果を高めるには 1) 無理せず、理解できるやさしい本から読むこと、2) 安定したペースで読むこと、3) 本の内容を楽しむこと、の 3 点がカギとなるだろう。

今回の結果はサンプル数も少ないので、統計的にはあまり意味があるとは言えないが、今回の実践では上記のような傾向が見られた。多読指導の効果を高めるための一要素として、読書態度には今後も注目していきたい。

## 引用文献

酒井邦秀(2002).『快読 100 万語! ペーパーバックへの道』東京:筑摩書房.

高瀬敦子(2010).『英語多読・多聴指導マニュアル』英語教育 21 世紀叢書 東京:大修館, 31-51, 177-188.

豊田工業高等専門学校(西澤一ほか)(2011).『多読・多聴による英語教育改善の全学展開—苦手意識を早期に克服し、自立学習を継続させ、英語運用能力を顕著に向上させる新しい英語教育の展開・伸長』報告書. 入手先

<[http://www.toyota-ct.ac.jp/dbps\\_data/\\_material/\\_localhost/syomu/kenkyu/gp\\_saisyu\\_all.pdf](http://www.toyota-ct.ac.jp/dbps_data/_material/_localhost/syomu/kenkyu/gp_saisyu_all.pdf)>

(参照 2012 年 7 月 1 日)

古川昭夫(2007). 「多読基本図書の YL 表 2007 年度案 GR/LR・児童書・一般書」  
<[http://www.seg.co.jp/sss/word\\_count/YL.html](http://www.seg.co.jp/sss/word_count/YL.html)> (参照 2012 年 7 月 1 日)

Day, R. R., & Bamford, J. (2003). Top ten principles for teaching extensive reading. *Reading in a Foreign Language*, Vol.14(2), 136-141.